

## 県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会設置要領

## (趣旨)

第1 青森県と岩手県との県境において発生した廃棄物不法投棄事案について、原状回復対策等を、効果的かつ早急に実施するために必要な評価・検討等を行うため、「県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会（以下「協議会」という。）」を設置する。

## (所掌)

第2 協議会の所掌事項は次のとおりとする。

- (1) 原状回復対策の工法に関する評価・検討
- (2) 原状回復対策の実施に係る安全性の評価・検討及び管理
- (3) 環境モニタリングに関する評価・検討
- (4) 跡地利用及び環境再生の検討
- (5) その他必要な事項

## (組織)

第3 協議会は、委員をもって組織する。  
2 委員は、知事が委嘱する

## (会長及び副会長)

第4 協議会に会長及び副会長を置く。  
2 会長は、委員の互選による。  
3 副会長は、会長が選任する。  
4 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。  
5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (任期)

第5 委員の任期は2年とする。

## (会議)

第6 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。  
2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

## (意見の聴取)

第7 会長は、第2に定める所掌事項に関し、必要に応じて利害関係者及び学識経験者等の出席を求め、その意見を聴くことができる。

## (庶務)

第8 協議会の庶務は、県境再生対策室において処理する。

## (その他)

第9 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は別に定める。

## 附 則

この要領は平成15年7月31日から施行する。

改 正 平成15年9月1日

県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会委員名簿

役職名	氏 名	所 属
	赤 津 重 光	弁護士
	宇 藤 安 貴 子	田子町農業協同組合女性部部长
	小 原 豊 明	二戸市長
	栴 本 重 幸	田子の声100人委員会副会長
	川 本 克 也	国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター 適正処理技術研究開発室長
	工 藤 勝 雄	二戸自然と環境を守る会副会長
	熊 谷 勝 弘	八戸圏域水道企業団副企業長
	佐々木 俊 介	青森公立大学教授(経営経済学部)
	中 村 隆 一	田子町長
	西 垣 誠	岡山大学教授(環境理工学部環境デザイン工学科)
	長谷川 信 夫	東北学院大学教授(工学部環境土木工学科)
	畠 山 嘉 昭	田子町自治会連合会副会長
	平 田 健 正	和歌山大学教授(工学部環境システム学科)
	福 士 憲 一	八戸工業大学教授(大学院工学研究科)
	藤 縄 克 之	信州大学教授(工学部社会開発工学科)
	古 市 徹	北海道大学教授(大学院工学研究科)
	松 橋 良 則	田子町商工会会長
	柳 田 慶 一	田子町農業協同組合代表理事組合長

(氏名五十音順)